

第28回復興推進委員会議事要旨

1 日時：平成31年1月21日（月）15：30～17：00

2 場所：中央合同庁舎4号館4階 共用第2特別会議室

3 出席委員：

伊藤委員長、秋池委員長代理、岩渕委員、大山委員、白根委員、白波瀬委員、田村委員、中田（俊）委員、松本委員、村井委員、若菜委員、千葉岩手県副知事（達増委員代理）、鈴木福島県副知事（内堀委員代理）

4 議事要旨：

（1）復興庁からの説明について

復興庁から、「『復興・創生期間』における東日本大震災からの復興の基本方針」の見直しに関し、基本方針の骨子案について説明があった。

（2）3県からの報告・意見について

宮城県（村井知事）からは東日本大震災からの復旧・復興の完遂に向けて国による支援の継続を求める要望について、岩手県（千葉副知事）からは復興・創生期間後も取り組むべき課題等について、福島県（鈴木副知事）からは福島県の復興の取組状況等について、報告・意見があった。

（3）意見交換

委員からは、次のような意見があった。

○ どのような支援の在り方がいいのか、どのような地域社会をつくっていくのか、これから2年、3年かけて地域の人を主体につくっていく時期に差しかかってきた。

災害による変化の収束だけでなく、根底的に変わっていく時代の先取りをするような新たな解決策を一緒に考えていきたいと思う。

○ 「復興・創生期間」が残り2年という中で、一部を除き、自立していただく必要がある。復興・創生期間が終わったときに急にエネルギーレベルが落ちないように、地元の方に受け渡すことも念頭に組み込んでいく必要がある。

復興庁の存続について、機能を太くして残してほしいという被災3県からの要望はもっともだと思う。

また、例えば東京都や和歌山県などでは事前復興計画を作っている。復興庁がこれまで培ってきたノウハウを伝承し、新しい被災地の復興に生かす機能を平時から持ちつづけるなど復興庁の機能が存続する仕組みを考えてほしい。

- 高齢化など、被災しなくても共通に存在する問題がある。復興のこれからの姿について、もどに戻るというだけでなく新しい時代をつくっていくため、いろいろな人を巻き込むことも意識する必要がある。
- 復興事業のおかげで、震災前に比べ、宮城県の経済が成長したが、建設事業、復興事業が中心であり、復興・創生期間終了後のリバウンドを危惧している。
東京一極集中が進む中で、本社を東京から地方に移転していくことが、これからの復興につながると思う。
- 風評払拭と風化は表裏一体であり、原子力災害については風評は払拭されるべきだが、津波被害に関する風化は防止する必要があるので、基本方針の中に風化の防止を入れるべきではないか。
- 岩手県の沿岸では、自治会の再構築がなかなか進んでいない。このため、基本方針の中に「住民自治の向上による安心・安全な暮らしの構築」等を入れていただきたい。また、復興に向けて、「企業、大学、NPO等の多様な主体」との結びつきやノウハウを生かすことについては、方向性を明確にさせていただくとありがたい。
- 大事なのは後継組織で、復興庁には、復興推進のための膨大な蓄積があるので、今後とも組織として蓄積する機能を残す必要がある。
- 安全についてはある程度限界を決められるが、安心は誰がどうしたらいいかわからないという面がある、だから、安心をどう確保していくかが次の仕事である。
また、産業振興について、インフラ整備が終わったときの落ち込みに注意が必要。政府に依存するだけではなく、自立の方向にいかねばいけない。国と地方がお互いに励まし合いながら、残りの2年間を仕上げるのが良いと思う。

(4) 有識者からのヒアリング

パーソナルサポートセンター理事の菅野 拓 氏より、「被災者の生活再建支援—平時の社会保障と連動させる—」について説明があった。

(5) 有識者からのヒアリング

バンザイファクトリー代表取締役の高橋 和良 氏より、「地域復興の取組」について説明があった。

(6) 意見交換

委員からは、次のような質疑、意見があった。

- 被災者の生活再建支援について、人手の問題にはどのような対応をしているのか。また、AIの活用により負担が軽くなることが考えられるが、そういう研究はしているのか。
- (有識者回答) 積極的に人材育成の投資を行った。ただ、今後、解決していかなければならず、事業を行っているところ同士の応援・受援は非常に大事なポイントである。
AIについては、一定のパターンがあることは実感値としてあり、業務を効率化させる部分はあるかと思うが、最後は人と人のケアであり、全部機械化することは難しい。
- 大船渡でこのようなベンチャー魂を持った若者がおられたということで、これから連携をしながら支援をしていきたい。人材育成道場にぜひ参加いただきたい。